

町内遺跡Ⅸ

— 平成30年度 埋蔵文化財緊急発掘調査報告書 —

2020

群馬県吾妻郡長野原町教育委員会

町内遺跡 XIX

—平成 30 年度 埋蔵文化財緊急発掘調査報告書—

2020

群馬県吾妻郡長野原町教育委員会

例 言

1. 本書は平成30年度に長野原町が各種開発事業に対応して実施した、町内遺跡緊急発掘調査の報告書である。
2. 本書は令和元年度国宝重要文化財整備事業補助金で作成した。
3. 本書に掲載した5地点は平成30年度国宝重要文化財整備事業補助金で実施した。
4. 調査は長野原町教育委員会直営で実施した。

調査主体 長野原町教育委員会

調査組織 教 育 長 市村隆宏

教 育 課 長 佐藤 忍

文化財保護対策室長 富田孝彦（文化財係長兼務）

文 化 財 係 市川勇氣（社会教育係兼務 ～平成30年12月27日）

高田靖之（子ども子育て支援室兼務 平成31年4月1日～）

細川剛史（地域おこし協力隊 ～令和元年6月30日）

調 査 参 加 者 柿本六美・坂井春栄・向出治恵・藤野麻子

5. 各遺跡の所在地は本文中に記した。
6. 本書中の遺跡名は調査が数次にわたっている場合はそれぞれを識別するために遺跡名の最後にローマ数字を表記してある。同一遺跡内の別地点と解釈していただきたい。

例) 立石遺跡 II

(遺跡名) (第2次)

7. 本書作成にあたっての作業分担は以下の通りである。

編集・執筆：富田、細川 遺構写真撮影：細川 図版作成：細川、向出、藤野

8. 調査において以下の項目を委託した。

表土掘削・埋め戻し：東光建設株式会社

測 量：株式会社 測 研

9. 本発掘調査における出土遺物ならびに図面・写真は長野原町教育委員会で保管している。
10. 発掘調査、整理調査及び報告書作成にあたり、次の方々・団体から御指導・御協力を賜った（五十音別敬称略）。

麻生敏隆・石田真・小野利之・大日方一郎・黒澤照弘・篠原敏洋・谷口康浩・藤巻幸男・古澤勝幸・向出博之・宮城あつ子・村上章義・山口逸弘・吉田智哉・イーゲート株式会社・株式会社歴史の杜・群馬県教育委員会・群馬県土地改良連合会・群馬県八ッ場ダム水源地域対策事務所・(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団・國學院大學考古学研究室・S B エナジー株式会社・立石林業株式会社・長野原町役場（建設課・産業課・ダム対策課）・ユニバーサルエコロジー株式会社

凡 例

1. 本書で使用した地図は1：2500「長野原町都市計画図」（長野原町1994）、1：25000「長野原」・「大前」である。
2. 挿図の方位は磁北を示す。
3. 挿図中の土層図のレベルは各遺跡とも、現地表面レベルを基に任意で設定している。
4. 挿図中の縮尺については、各挿図中に示してある。
5. 堆積土層の色調については、「新版標準土色帖1995年後期版」（編・著小山正忠・竹原秀雄、監修農林水産省農林水産技術会議事務局、色票監修財団法人日本色彩研究所）の色名を参考にした。
6. 挿図中のスクリントーン・記号は以下の通りである。

遺構・土層図



目次

例言

凡例

各遺跡の位置図	1
第1章 平成30年度長野原町内遺跡の概要	2
第2章 試掘確認調査	4
A. 包蔵地内	4
1. 立石遺跡Ⅱ	4
2. 長畝Ⅱ遺跡Ⅳ	10
3. 林中原Ⅰ遺跡ⅩⅧ	12
B. 包蔵地外	15
4. 応桑字田通原	15
5. 北軽井沢字大屋原	16
写真図版	
報告書抄録	

挿 図 目 次

第 1 図 各道路の位置図 (1/100,000)	1	第 10 図 トレンチ配置図 (1/400)・土層図 (1/20)	11
第 2 図 調査地点位置図 (1/5,000)	4	第 11 図 調査地点位置図 (1/5,000)	12
第 3 図 トレンチ配置図 (1/400)	4	第 12 図 トレンチ配置図 (1/400)・土層図① (1/20)	13
第 4 図 土層図 (1/20)	5	第 13 図 土層図② (1/20)	14
第 5 図 立石遺跡Ⅱ出土遺物実測図① (1/4・1/3)	6	第 14 図 調査地点位置図 (1/5,000)	15
第 6 図 立石遺跡Ⅱ出土遺物実測図② (1/4・1/3・1/1)	7	第 15 図 トレンチ配置図 (1/400)	15
第 7 図 立石遺跡Ⅱ出土遺物実測図③ (1/4・1/3)	8	第 16 図 土層図 (1/20)	16
第 8 図 立石遺跡Ⅱ出土遺物実測図④ (1/2・1/3)	9	第 17 図 調査地点位置図 (1/5,000)	16
第 9 図 調査地点位置図 (1/5,000)	10	第 18 図 トレンチ配置図 (1/600)・土層図 (1/20)	17

表 目 次

第 1 表 平成 30 年度埋蔵文化財調査一覧	2	第 2 表 立石遺跡Ⅱ出土遺物観察表	9
-------------------------------	---	--------------------------	---

図 版 目 次

【立石遺跡Ⅱ】

図版 1	1. 調査区全景 (北西から)
	2. 1 トレ (東から)
	3. 1 トレ土層 (南から)
	4. 2 トレ (東から)
	5. 3 トレ西 (南から)
図版 2	1. 3 トレ南 (西から)
	2. 3 トレ東 (北から)
	3. 3 トレ土層 1 (西から)
	4. 3 トレ土層 2 (西から)
	5. 3 トレ土層 3 (南から)
	6. 3 トレ土層 4 (西から)
	7. 3 トレ土層 5 (西から)
	8. 3 トレ遺物集中 1 (東から)
図版 3	1. 3 トレ遺物集中 2 (南東から)
	2. 3 トレ遺物集中 3 (南東から)
	3. 立石遺跡Ⅱ出土遺物①
図版 4	1. 立石遺跡Ⅱ出土遺物②
図版 5	1. 立石遺跡Ⅱ出土遺物③

【長谷Ⅱ遺跡Ⅳ】

図版 6	1. 1 トレ (北から)
	2. 1 トレ土層 (東から)
	3. 2 トレ (北から)
	4. 2 トレ土層 1 (東から)
	5. 2 トレ土層 2 (東から)

【林中原Ⅰ遺跡Ⅷ】

図版 7	1. 調査区全景 (北西から)
	2. 1 トレ (南から)
	3. 1 トレ土層 1 (西から)
	4. 2 トレ (南から)
	5. 2 トレ土層 2 (西から)

図版 8	1. 3 トレ (東から)
	2. 3 トレ土層 (南から)
	3. 4 トレ (東から)
	4. 4 トレ土層 1 (南から)
	5. 4 トレ土層 2 (南から)
	6. 5 トレ (北から)
	7. 5 トレ土層 (東から)
	8. 6 トレ (東から)
図版 9	1. 6 トレ土層 (南から)
	2. 7 トレ (西から)
	3. 7 トレ土層 1 (北から)
	4. 7 トレ土層 2 (北から)
	5. 7 トレ遺物出土状況 (北から)
	6. 出土遺物①
	7. 出土遺物②

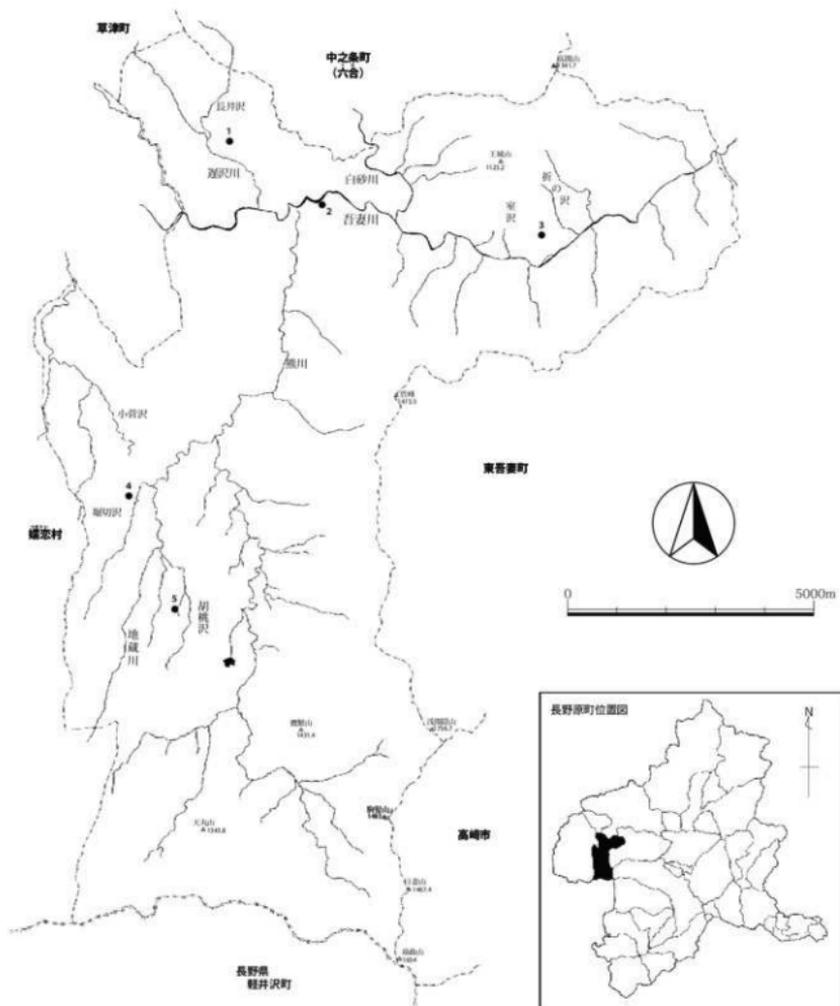
【応桑字田通筋】

図版 10	1. 調査区全景 (北東から)
	2. 1 トレ (西から)
	3. 1 トレ土層 (北から)
	4. 2 トレ (西から)
	5. 2 トレ土層 (北から)

図版 11	1. 3 トレ (西から)
	2. 3 トレ土層 (北から)

【北経井沢字大原原】

	3. 調査区全景 (南西から)
	4. 1 トレ (西から)
	5. 1 トレ土層 (北から)
図版 12	1. 2 トレ (西から)
	2. 2 トレ土層 1 (北から)
	3. 2 トレ土層 2 (北から)
	4. 3 トレ (西から)
	5. 3 トレ土層 (北から)
	6. 作業風景



1. 立石遺跡 II 2. 長畝 II 遺跡 IV 3. 林中原 I 遺跡 X VII 4. 応桑字田通原 5. 北軽井沢字大屋原

第 1 図 各遺跡の位置図 (1/100,000)

第1章 平成30年度長野原町内遺跡の概要

浅間山の北東麓に位置する長野原町では、令和元年12月現在で225の包蔵地（指定文化財を含む）が把握されている。この地域内において開発行為が計画された場合、事業主体者と町教育委員会文化財保護対策室との間で埋蔵文化財に関する取り扱いの協議を行い、試掘確認調査を実施している。それによって明確な遺構・遺物が検出された場合、工事計画変更の協力をお願いをして現状で保存するか、やむを得ない場合は遺跡の破壊を前提とした記録保存（発掘調査）を行っている。

平成30年度の長野原町における埋蔵文化財調査は13件であった（第1表）。その内訳は本調査7遺跡、包蔵地内の確認調査3遺跡、包蔵地外の試掘調査2地点である。これらには國學院大学考古学研究室による学術調査（第1表9）と水源地域対策特別法（以下、水特法）の対象事業8件（第1表3～8、13）が含まれている。本書では学術調査の居家以岩陰遺跡群と、本調査を実施した町営横壁土改良事業関係、赤羽根遺跡を除いた5件の概要を報告する。

第1表 平成30年度埋蔵文化財調査一覧

No	本書No	遺跡名	所在地	原因種類	調査面積	調査期間	備考
1	4	応桑字田通原	応桑字田通原 306-55	太陽光発電所 試掘調査	37.5 ㎡	H30年4月3日	遺構・遺物なし
2	1	立石遺跡Ⅱ	大津字立石 824-1	個人専用住宅 確認調査	67.5 ㎡	H30年4月6日～ 4月20日	縄文後期遺物集中3箇所など 発掘届（93-1） 現状保存協定
3	—	上野Ⅰ遺跡	横壁字上野 787 外 11 筆	町営横壁土改良事業 本調査	6.378 ㎡	H30年5月16日～ 10月17日	縄文晩期土坑、平安住居・土坑・陥し穴など 発掘届（94-1） 水特法
4	—	横壁勝沼Ⅲ遺跡	横壁字勝沼 851 外 8 筆	町営横壁土改良事業 本調査	1.837 ㎡	H30年5月16日～ 8月28日	平安住居・陥し穴、近世以降水田・石垣など 発掘届（94-1） 水特法
5	—	横壁勝沼Ⅱ遺跡	横壁字勝沼 876 外 4 筆	町営横壁土改良事業 本調査	1.634 ㎡	H30年6月7日～ 8月30日	縄文土坑、平安陥し穴など 発掘届（94-1） 水特法
6	—	上野Ⅱ遺跡	横壁字上野 728 外 14 筆	町営横壁土改良事業 本調査	10.540 ㎡	H30年7月11日～ 12月28日	縄文住居・土坑・埋蔵、平安住居・掘立柱建物・カマド屋・土坑・陥し穴・畑など 発掘届（94-1） 水特法

7	—	山根Ⅲ遺跡Ⅲ	横壁字山根 395外22筆	町営横壁土地改良事業 本調査	6,419 ㎡	H30年8月28日～ 12月18日	平安陥し穴・土坑など 発掘届(94-1) 水特法
8	—	山根Ⅴ遺跡	横壁字山根 467	町営横壁土地改良事業 本調査	88㎡	H30年9月10日～ 9月26日	縄文中期前半水場遺構 発見届(95) 発掘届(94-1) 水特法
9	—	居家以岩陰遺跡群 1号岩陰	長野原字居 家以875,丙 877	学術調査	30㎡	H30年8月23日～ 9月22日	縄文土器・石器・人骨・ 獣骨等出土 発掘届(92)
10	—	赤羽根遺跡	大津字赤羽 根 1388-53 外23筆	太陽光発電所 本調査	11,644 ㎡	H30年10月2日～ 12月27日	
11	2	長畝Ⅱ遺跡Ⅳ	与喜屋字 長畝 151- 1,173-1	駐車場 確認調査	54.4 ㎡	H30年10月15日	遺構・遺物なし 発掘届(93-1)
12	5	北軽井沢字大屋原	北軽井沢 字大屋原 1353-2668, 2669	太陽光発電所 試掘調査	50.3 ㎡	H30年11月19日	遺構・遺物なし
13	3	林中原Ⅰ遺跡Ⅱ	林字中原 956-1	町営団地 確認調査	150㎡	H30年12月3日～ 12月6日	縄文後期土坑 発掘届(94-1) 水特法

第2章 試掘確認調査

A. 包蔵地内

1. 立石遺跡Ⅱ



所在地	長野原町大字大津字立石 824-1
開発事業名	個人専用住宅
調査期間	平成 30 年 4 月 6 日～4 月 20 日
開発総面積	498㎡
調査面積	67.5㎡

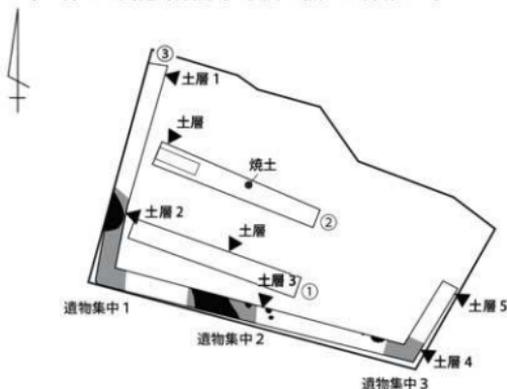
第 2 図 調査地点位置図 (1/5,000)

立地と経過

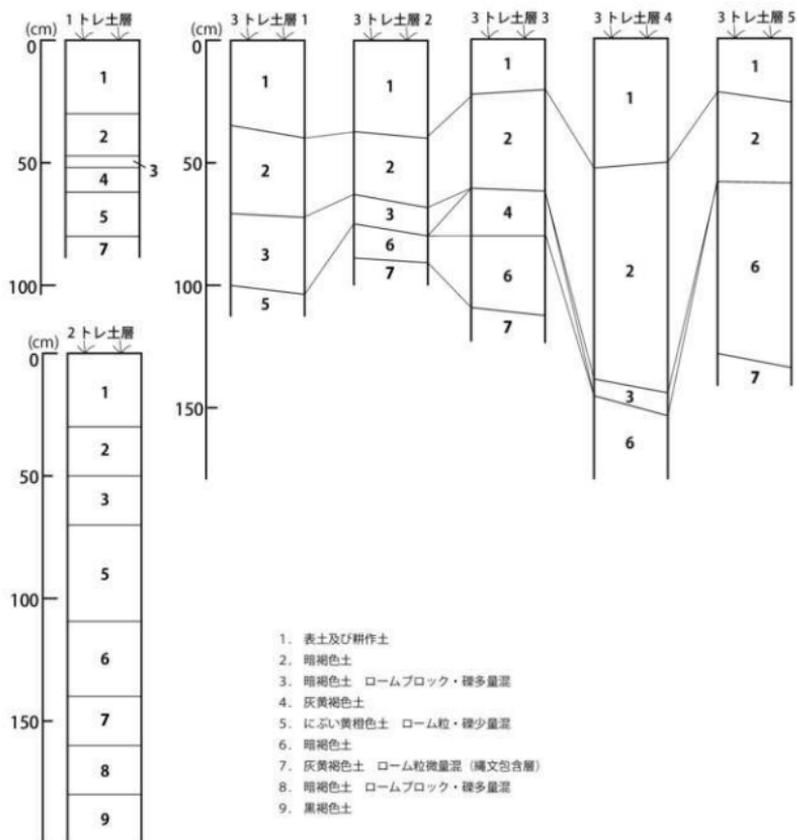
対象地は長野原町の北部、吾妻川流域地帯に属し、吾妻川の支流遅沢川の左岸段丘上に位置する。標高は 734 m 位である。対象地が周知の包蔵地「立石遺跡 (No.95)」の範囲内であることから開発事業主と協議し、確認調査を行うこととなった。

調査結果

個人住宅建築予定地と住宅建築に伴う擁壁設置予定箇所に 3 本のトレンチを設定し、土層の堆積状況と遺構の有無を確認した。その結果、掘り込みを有する遺物集中箇所が検出されたが、工事計画による住宅基礎レベル・擁壁基礎レベルともに遺構確認面から十分な保護層が確保できるため、工事に際して文化財保護的に支障は無いと判断した。



第 3 図 トレンチ配置図 (1/400)

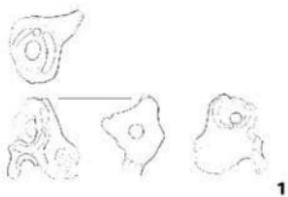


第4図 土層図 (1/20)

堆積土層は1・2トレンチでは北壁、3トレンチでは北西部東壁、南西部東壁、南中央部北壁、南東部東壁、北東部東壁で確認した。本地点では地山のローム層を確認することはできず、調査区全体が北西から南東に向かって傾斜する谷地形であること、第7層が縄文時代後期前半(称名寺式期主体～堀之内式期)の遺物包含層であることが判明した。検出された遺構に関しては、2トレンチ中央部で第7層上面で土器片を伴う焼土遺構、3トレンチではトレンチ西部(遺物集中1)・トレンチ南中央部(遺物集中2)・トレンチ南東部(遺物集中3)の3箇所遺物が集中し、前2者は掘り込みを伴うことが確認された。残りの遺物集中3は、調査区内で標高が一番低く、谷地形の底部分であったため堆積したものと考えられた。検出した掘り込みは断ち割りを行っていないが、ともに谷地形と並行して北西から南東へ延びる形状を呈すると考えられる。

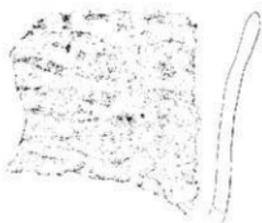
以上、工事に影響のある深さまでに遺構となる掘り込みは確認されなかったが、遺構・遺物が検出されたことから、工事に先立ち工事主体者と遺跡の保存に関する協定を結ぶこととした。

1トレ



1

2トレ



2



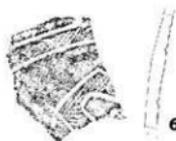
3



4



5



6

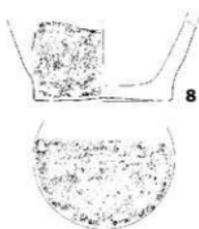


3トレ

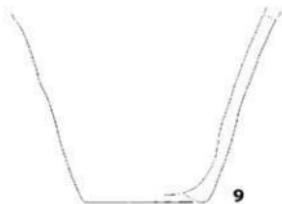
遺物集中1



7



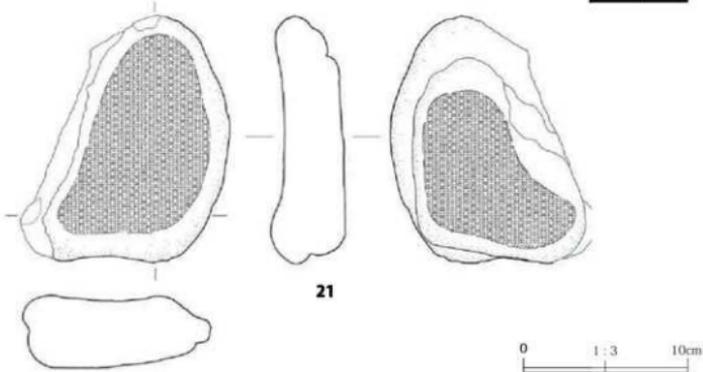
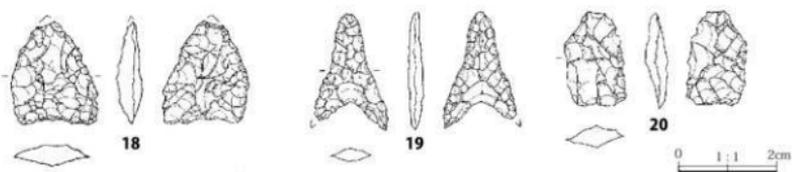
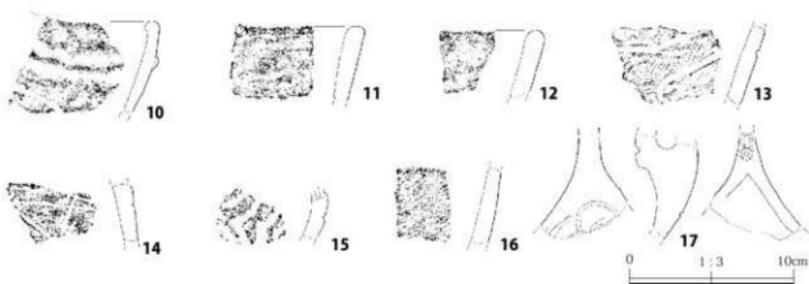
8



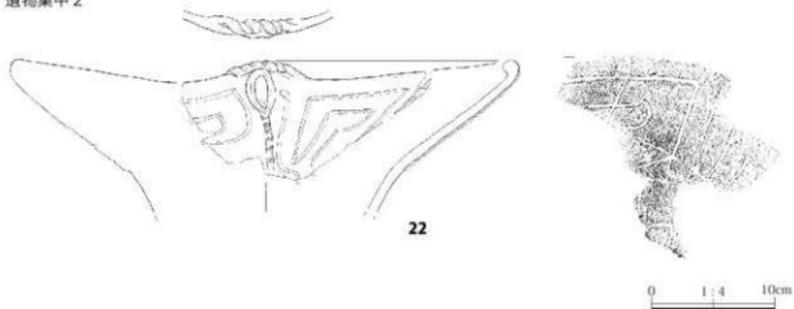
9



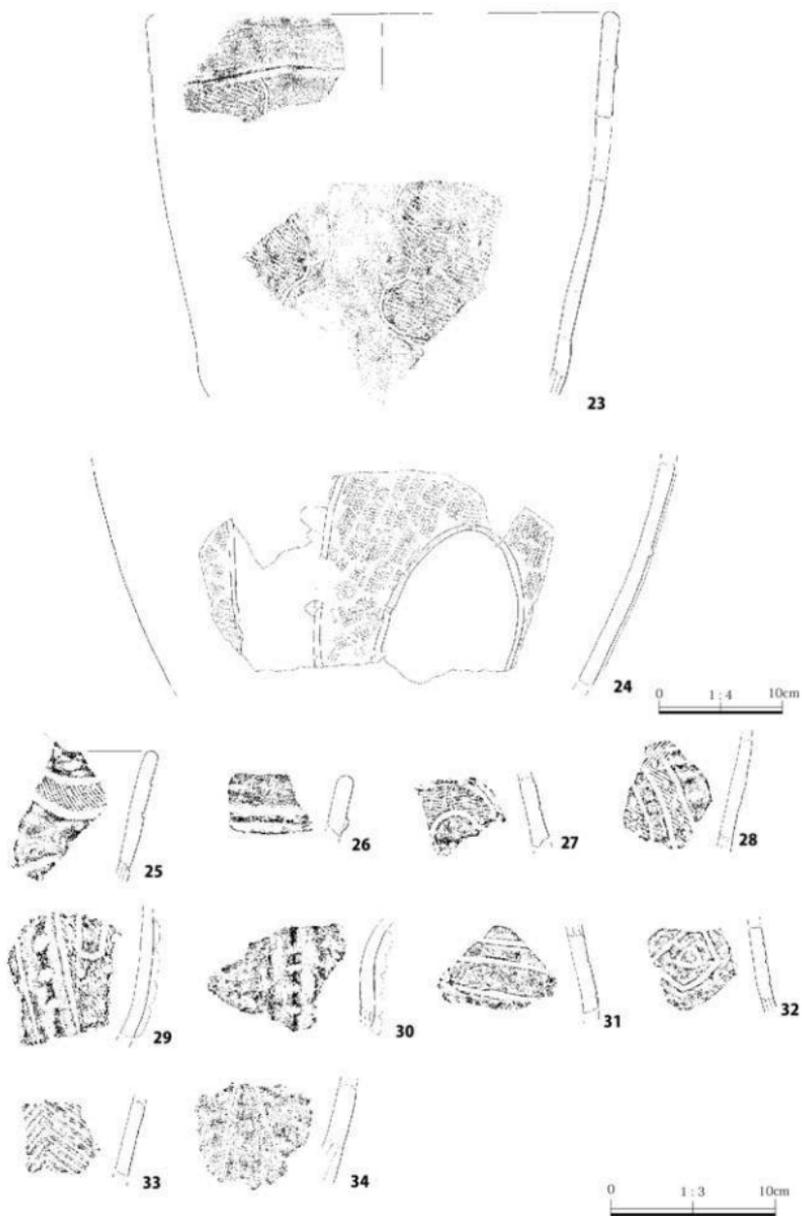
第5図 立石遺跡II出土遺物実測図① (1/4・1/3)



遺物集中2



第6図 立石遺跡II出土遺物実測図② (1/4・1/3・1/1)



第7図 立石遺跡II出土遺物実測図③ (1/4・1/3)

調査 番号	遺跡 名称	経緯	規模(長さ・幅・ 高さ) (m)	特 徴	状況	出土・付着等	地質(内面・外面)	備考	
7-25	縄文土器 遺跡	8.20	〃	西口1棟、外面は沈埋区画の1区画、内面は横位ミガキ。	良好	長石・小塚・赤 土・白土	堀/明堀	破片資料(1棟部)	3/2
7-26	縄文土器 遺跡	13.71	〃	外面は横位微隆部、内面は横位ミガキ。	良好	黒石・長石・ 白土	明堀/明堀	破片資料(1棟部)	3/2
7-27	縄文土器 遺跡	14.11	〃	外面は沈埋区画の1区画、内面は横位ミガキ。	良好	長石・白土・ 赤土	明堀/に深い溝堀	破片資料(1棟部)	3/2
7-28	縄文土器 遺跡	15.59	〃	外面は沈埋区画の1区画、内面は横位ミガキ。	良好	黒石・長石・ 白土	堀堀/堀	破片資料(1棟部)	3/2
7-29	縄文土器 遺跡	17.64	〃	外面は縦位有列隆部、沈埋区画の1区画、内面は横位ミガキ。	良好	白土・黒石・ 赤土	明堀/に深い溝堀	破片資料(1棟部)	3/2
7-30	縄文土器 遺跡	18.20	〃	外面は縦位有列隆部、内面は横位ミガキ。	良好	長石・白土・ 赤土	溝堀/に深い溝堀	破片資料(1棟部)	3/2
7-31	縄文土器 遺跡	18.50	〃	外面は横位沈埋、内面は横位ミガキ。	良好	長石・黒石・ 白土	溝堀/に深い溝堀	破片資料(1棟部)	3/2
7-32	縄文土器 遺跡	18.50	〃	外面は門を挟く2本の沈埋、内面は横位ミガキ。	良好	白土・黒石・ 赤土	溝堀/に深い溝堀	破片資料(1棟部)	3/2
7-33	縄文土器 遺跡	18.60	〃	外面は横位沈埋、内面は横位ミガキ。	良好	黒石・白土・ 赤土	明堀/に深い溝堀	破片資料(1棟部)	3/2
7-34	縄文土器 遺跡	18.71	〃	外面は横位ミガキ、内面は横位ミガキ。	やや良好	長石・白土・ 赤土	堀/に深い溝堀	破片資料(1棟部)	3/2
8-35	約石(石垣敷 石垣)	長さ4.0/幅4.9/厚 0.8		断面31.55g。	-	黒石	-	ほぼ完好	3/2
8-36	約石(石垣敷 石垣)	長さ5.3/幅4.9/厚 0.8		断面21.65g。	-	黒石	-	完好	3/2
8-37	縄文土器 遺跡	19.80	〃	外面は直角沈埋区画の1区画、内面は横位ミガキ。	良好	黒石・長石・ 白土	溝堀/に深い溝堀	破片資料(1棟部)	3/3
8-38	縄文土器 遺跡	13.60	〃	外面は掘削有列微隆部、隆部より下部に又又付着、内面は横位ミガキ。	良好	白土・黒石	に深い溝堀/灰溝堀	破片資料(1棟部)	3/3
8-39	縄文土器 遺跡	13.50	〃	外面は溝部等の沈埋区画と縦、内面は横位ミガキ。	良好	黒石・長石・ 白土	に深い溝堀/に深い溝堀	破片資料(1棟部)	3/3
8-40	縄文土器 遺跡	14.50	〃	外面は溝部等の沈埋区画と縦、内面は横位ミガキ。	良好	黒石・長石・ 白土	に深い溝堀/に深い溝堀	破片資料(1棟部)	3/3
8-41	縄文土器 遺跡	14.20	〃	外面は沈埋区画の1区画、内面は横位ミガキ。	良好	黒石・長石・ 白土	堀堀/横堀堀	破片資料(1棟部)	3/3
8-42	縄文土器 遺跡	13.50	〃	外面は沈埋区画の1区画、内面は横位ミガキ。	良好	黒石・長石・ 白土	溝堀/に深い溝堀	破片資料(1棟部)	3/3
8-43	約石(石垣敷 石垣)	長さ1.7/幅6.6/厚 2.0		断面208g。	-	粗面石(石灰岩)	-	完好	3/3

ながわねいせき 2. 長谷Ⅱ遺跡Ⅳ



所在地	長野原町大字与喜屋 151-1,173-1
開発事業名	車庫
調査期間	平成30年10月15日
開発総面積	336㎡
調査面積	54.40㎡

第9図 調査地点位置図 (1/5,000)

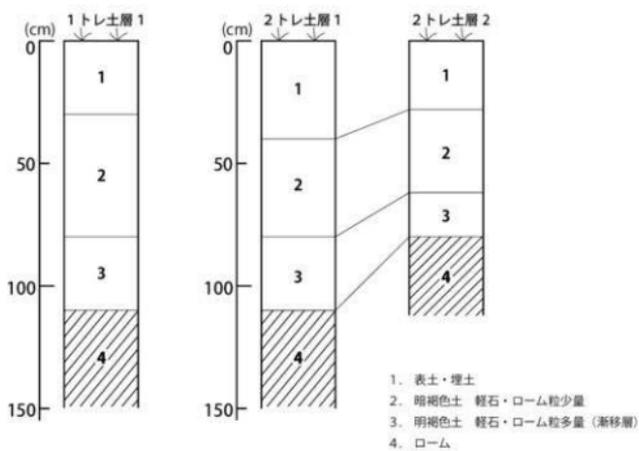
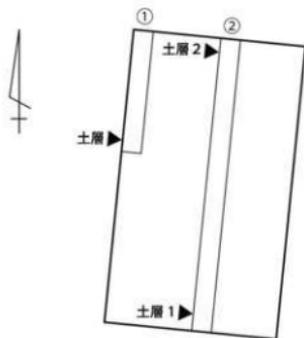
立地と経過

対象地は長野原町の北部、吾妻川流域地域に属し、吾妻川の右岸段丘上に位置する。標高は660mである。対象地が周辺の包蔵地「長谷Ⅱ遺跡 (No.127)」の範囲内であることから開発事業主と協議し、確認調査を行うこととなった。

調査結果

車庫新築予定箇所に2本のトレンチを設定し、土層の堆積状況と遺構の有無を確認した。その結果、遺構・遺物が検出されなかったため、駐車場敷設工事に際して文化財保護的に支障は無いと判断した。

平成21・27年度に本地点の北側で確認調査を行った際には平安時代の住居跡が数軒検出されており、その集落の広がりを把握することができると期待されたが、包含層自体が削平されていることが判明した。



第 10 図 トレンチ配置図 (1/400)・土層図 (1/20)

はやしなかはらいちいきき
3. 林中原 I 遺跡XⅧ



所在地	長野原町大字林字中原 956-1
開発事業名	町営団地
調査期間	平成 30 年 12 月 3 日～ 12 月 6 日
開発総面積	1,000㎡
調査面積	150㎡

第 11 図 調査地点位置図 (1/5,000)

立地と経過

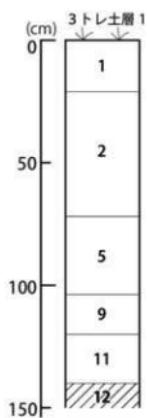
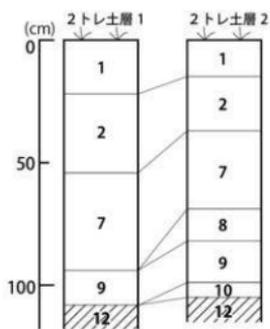
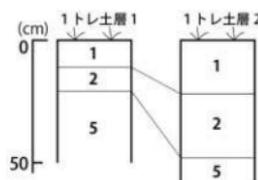
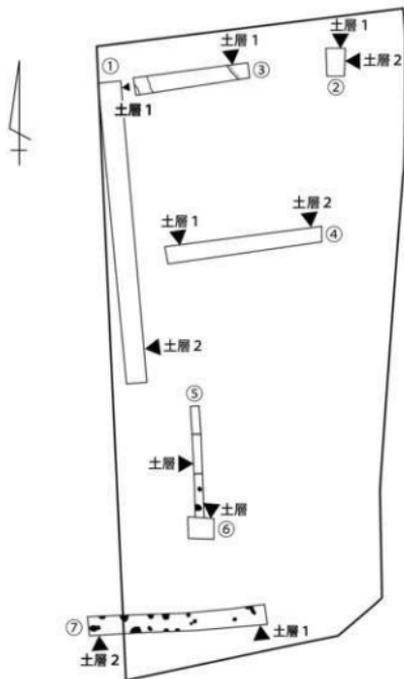
対象地は長野原町の北部、吾妻川流域地帯に属し、吾妻川の左岸段丘上に位置する。標高は 630 m 位である。対象地は周知の包蔵地「林中原 I 遺跡 (No.45)」の範囲内であることから開発事業主と協議し、確認調査を行うこととなった。

調査結果

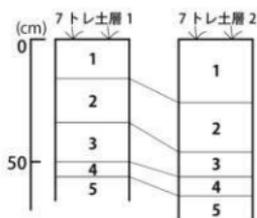
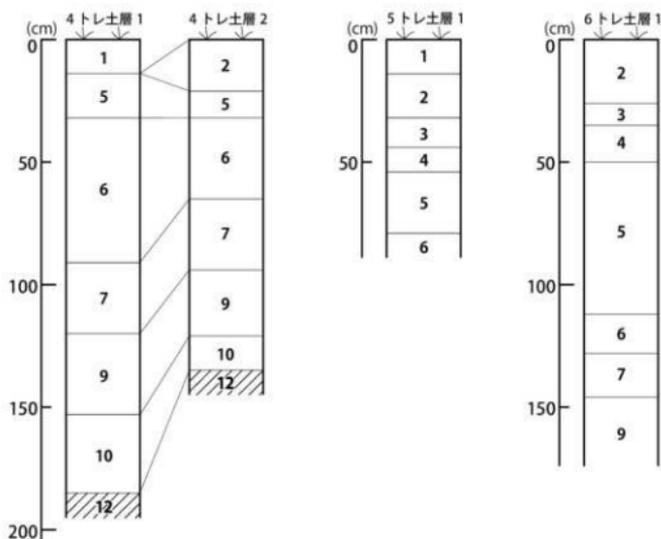
町営団地建設予定地に 7 本のトレンチを設定し、土層の堆積状況と遺構の有無を確認した。その結果、遺構と考えられる掘り込みと遺物包含層が確認されたため、建設工事に際して文化財保護の観点から記録保存調査が必要であると判断した。

1 トレでは縄文土器が数点出土したが、遺構となる掘り込みは確認されなかった。2・3・4 トレではローム層まで掘り下げ調査を行ったが、遺構・遺物は検出されなかった。3 トレの西側では南北に伸びる自然流路の落ち込みを確認し、3 トレ東端では東に傾斜する谷地形を確認した。この谷地形の軸は北北西から南南東に向くものと思われる。5 トレでは、南側で遺物包含層と遺構と思われる掘り込みが確認され、北側では確認されなかった。堆積土層から 5 トレの中央部以南が遺物包含層を有していることが分かった。遺物包含層は地表から約 40cm の第 4 層である。6 トレも 5 トレ南部と同じく遺物包含層が確認され、トレンチの一部を 2 m 弱まで掘り下げ、遺構・遺物の確認を行ったが、第 4 層より下層では遺構・遺物は検出されなかった。7 トレでも第 4 層が遺物包含層となっており、遺構と思われる掘り込みが検出された。7 トレにおける包含層までの深さは地表から約 50cm であった。

今回の調査で出土した遺物は縄文時代後期の土器片と黒曜石の剥片であり、過去に実施された隣接地点の発掘調査成果からも本地点は縄文時代後期の集落東端であったと想定できる。以上のことから、遺構・遺物包含層が検出された対象地範囲の南側においては開発工事に先立ち記録保存調査を行うことが妥当と判断された。



第 12 図 トレンチ配置図 (1/400) ・土層図① (1/20)



1. 表土・耕作土
2. 褐灰色土
3. 黒褐色土
4. 暗褐色土 (織文窩含層)
5. 明褐色土 礫層
6. 明褐色土
7. 黒褐色土
8. 褐灰色土
9. 暗褐色土
10. 明褐色土 (漸移層)
11. 褐灰色土 砂礫層
12. ローム

第13図 土層図② (1/20)

B. 包蔵地外

4. 応桑字田通原



所在地	長野原町大字応桑字田通原 306 番地 55
開発事業名	太陽光発電所建設
調査期間	平成 30 年 4 月 3 日
開発総面積	2,001㎡
調査面積	37.5㎡

第 14 図 調査地点位置図 (1/5,000)

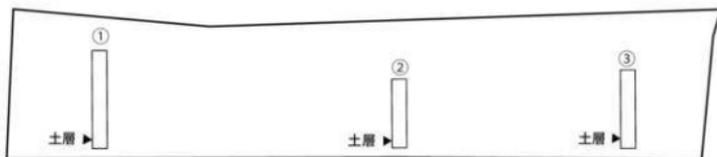
立地と経過

対象地は長野原町の中央部、浅間高原地帯に属し、堀切沢の左岸段丘上に位置する。標高は 990 m 位である。対象地周辺に周知の包蔵地が点在していることから開発事業主と協議し、試掘調査を行うこととなった。

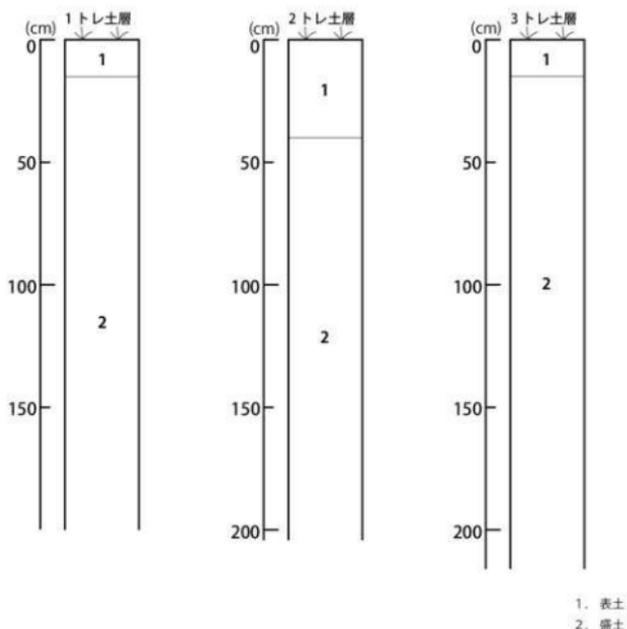
調査結果

太陽光発電所建設予定地内に 3 本のトレンチを設定し、土層の堆積状況と遺構の有無を確認した。その結果、建設に影響のある深さまでに遺構となる掘り込みは確認されなかったため、太陽光発電所建設工事に際して文化財保護的に支障は無いと判断した。

堆積土層は 1～3 トレとも南壁で確認し、本地点では国道 146 号線敷設のために 2m 程の盛土造成を実施していることが判明した。また、当時の地形が東から西へ傾斜していることが確認された。

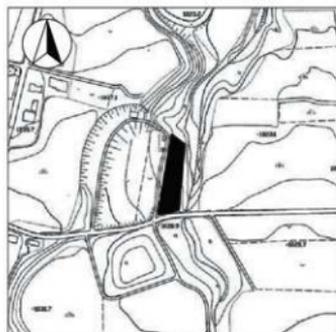


第 15 図 トレンチ配置図 (1/400)



第 16 図 土層図 (1/20)

きたかろいでのおおやほら
5. 北軽井沢字大屋原



所在地 長野原町大字北軽井沢字大屋原
1353-2668, 2669
開発事業名 太陽光発電所建設
調査期間 平成 30 年 11 月 19 日
開発総面積 1,986㎡
調査面積 50.3㎡

第 17 図 調査地点位置図 (1/5,000)

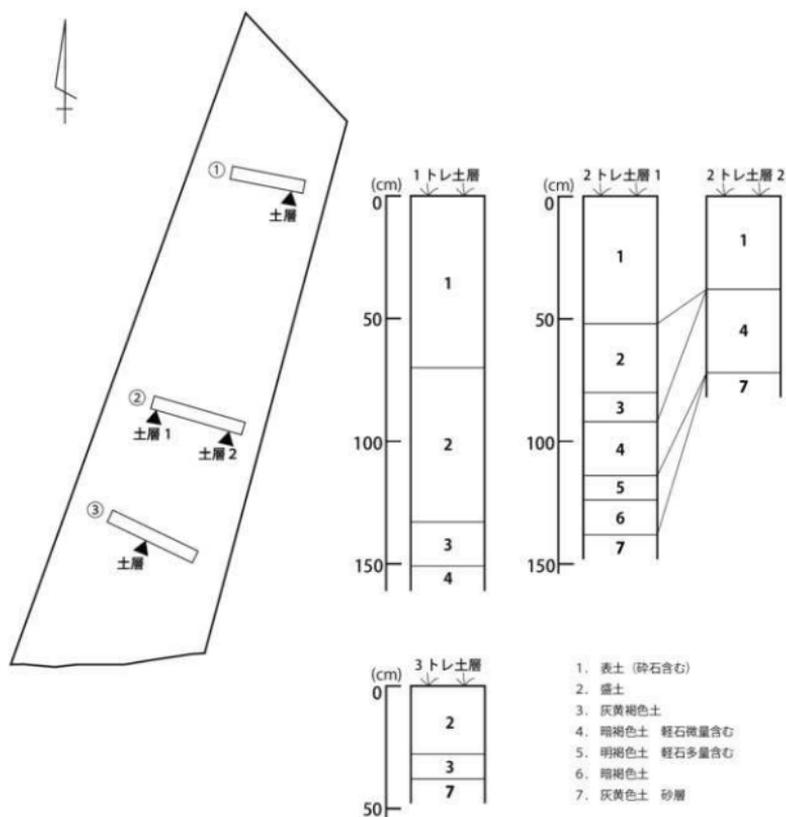
立地と経過

対象地は長野原町の南部、浅間高原地帯に属し、胡桃沢の西に位置する。標高は1,022m位である。対象地周辺に周知の包蔵地が点在していることから開発事業主と協議し、試掘調査を行うこととなった。

調査結果

太陽光発電所建設予定地に3本のトレンチを設定し、土層の堆積状況と遺構の有無を確認した。その結果、遺構・遺物は確認されなかったため、太陽光発電所建設工事に際して文化財保護的に支障は無いと判断した。

堆積土層は1～3トレともに南壁で確認した。大きく7層に分けられ、第1・2層が現代の人為的な堆積であることが観察できた。3本のトレンチ調査により、本地点では南西から北東に向けて地形が傾斜しており、その傾斜を水平にするために第1・2層の盛土を実施したことが理解された。



第18図 トレンチ配置図 (1/600)・土層図 (1/20)

写 真 图 版



1. 調査区全景 (北西から)



2. 1トレ (東から)



3. 1トレ土層 (南から)



4. 2トレ (東から)



5. 3トレ西 (南から)



1. 3トレ南 (西から)



2. 3トレ東 (北から)



3. 3トレ土層1 (西から)



4. 3トレ土層2 (西から)



5. 3トレ土層3 (南から)



6. 3トレ土層4 (西から)



7. 3トレ土層5 (西から)



8. 3トレ遺物集中1 (東から)



1. 3トレ遺物集中2 (南東から)



2. 3トレ遺物集中3 (南東から)

1トレ



2トレ



3



4



5



6

3トレ

遺物集中1



7



8



9



10



11



12



13



14



15

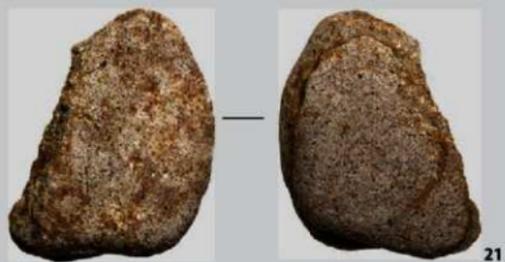


16



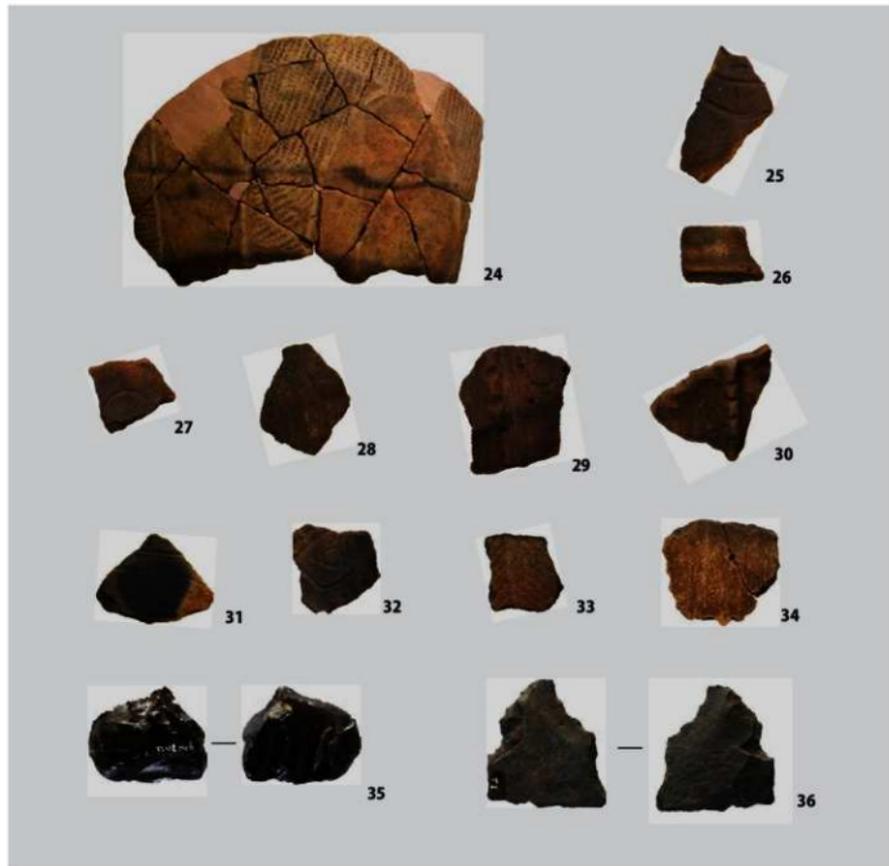
17

3. 立石遺跡出土遺物①

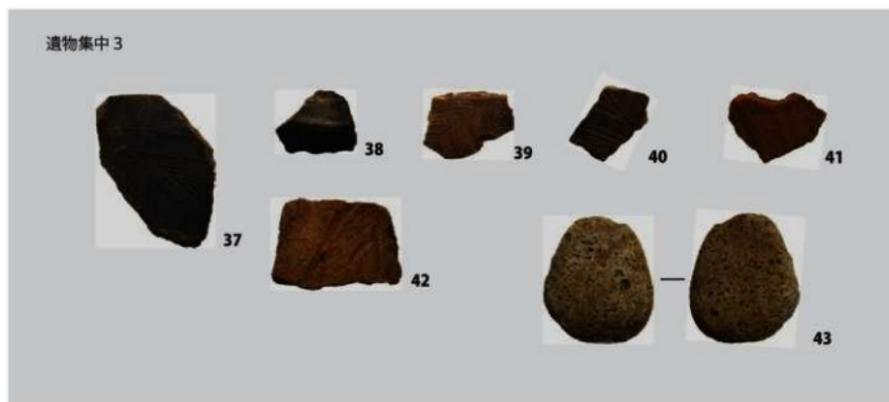


遺物集中2





遺物集中3





1. 1トレ (北から)



2. 1トレ土層 (東から)



3. 2トレ (北から)



4. 2トレ土層1 (東から)



5. 2トレ土層2 (東から)



1. 調査区全景 (北西から)



2. 1トレ (南から)



3. 1トレ土層1 (西から)



4. 2トレ (南から)



5. 2トレ土層2 (西から)



1. 3トレ (東から)



2. 3トレ土層 (南から)



3. 4トレ (東から)



4. 4トレ土層1 (南から)



5. 4トレ土層2 (南から)



6. 5トレ (北から)



7. 5トレ土層 (東から)



8. 6トレ (東から)



1. 6トレ土層 (南から)



2. 7トレ (西から)



3. 7トレ土層1 (北から)



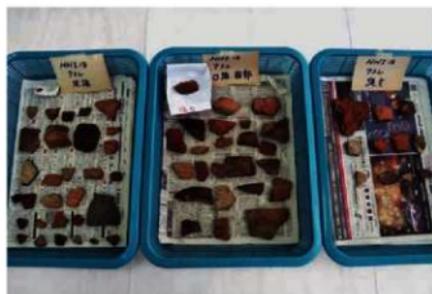
4. 7トレ土層2 (北から)



5. 7トレ遺物出土状況 (北から)



6. 出土遺物①



7. 出土遺物②



1. 調査区全景（北東から）



2. 1トレ（西から）



3. 1トレ土層（北から）



4. 2トレ（西から）



5. 2トレ土層（北から）



1. 3トレ (西から)



2. 3トレ土層 (北から)



3. 調査区全景 (南西から)



4. 1トレ (西から)



5. 1トレ土層 (北から)



1. 2トレ (西から)



2. 2トレ土層1 (北から)



3. 2トレ土層2 (北から)



4. 3トレ (西から)



5. 3トレ土層 (北から)



6. 作業風景

報告書抄録

ふりがな	ちょうないいせき じゅうきゅう
書名	町内遺跡XX
副書名	平成30年度 埋蔵文化財緊急発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	長野原町埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第38集
編著者名	富田孝彦 細川剛史
編集機関	長野原町教育委員会
所在地	〒377-1392 群馬県吾妻郡長野原町大字長野原 1340-1 TEL0279-82-4517/FAX0279-82-3115
発行年月日	西暦2020年3月6日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	市町村コード	北緯 (世界測地系)	調査期間	調査面積	調査原因	発見遺構
		遺跡番号	東経 (世界測地系)		開発面積		保護措置
たていし いせき 立石遺跡Ⅱ	ながのらげん だいがく たいす たちし 824-1	10424	365605	180406～ 180420	67.5㎡	個人専用住 宅	焼土遺構・ 遺物集中
		95	1385058		498㎡		現状保存
ながのらげん いせき 長畝Ⅱ遺跡Ⅳ	" だいがく と きやうら ながのらげん 151-1.173-1	10424	365493	181015	54.4㎡	車庫	遺構なし
		127	1386294		336㎡		—
はやしな のらげん いせき 林中原Ⅰ遺跡XⅦ	" だいがく 林 ちゅうげん 956-1	10424	365448	181203～ 181206	150㎡	町営団地	土坑
		45	1386777		1,000㎡		記録保存
おんそう だいがく とうりゅう 応桑字田通原	" おんそう だいがく とうりゅう 306-55	10424	364964	180403	37.5㎡	太陽光発電 所	遺構なし
		—	1385849		2,001㎡		—
きたかぜ いたす だいがく たいす 北軽井沢字大屋原	" きたかぜ いたす だいがく たいす 1353-2668、2669	10424	364766	181119	50.3㎡	太陽光発電 所	遺構なし
		—	1385950		1,986㎡		—

町内遺跡Ⅻ

—平成30年度 埋蔵文化財緊急発掘調査報告書—

令和2年2月25日 印刷

令和2年3月6日 発行

発行 群馬県吾妻郡長野原町教育委員会

〒377-1392 群馬県吾妻郡長野原町大字長野原1340-1

TEL 0279 (82) 4517 FAX 0279 (82) 3115

印刷 朝日印刷工業株式会社